

1 事業概要

		課名	リニア推進課	事業No.	45
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	S50	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
	法令・例規等				
事業目的		対象	リニア中央新幹線整備		
		意図	早期開業		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)					
		リニア中央新幹線事業の推進のため、JR東海との協議をはじめ関連する関係機関、関係地区と調整をとりながら進めています。明かり区間においては、幅杭の設置、道水路代替計画の策定、用地測量の実施、移転対策としての代替地整備に関する調査に取り組みました。トンネル区間においては、H29年12月に中央アルプストンネル松川工区の工事説明会が開催され、H30年2月に工事車両の通行等に関する確認書を締結し、妙琴公園内で準備工事が始まりました。また、水資源の事後調査計画の策定に協力しました。今年度もリニア駅周辺整備のための基金を積み立てました。さらに、リニア推進ロードマップの見直しを行いました。	北条地区道路改良設計測量費	9,223	代替地整備計画基本設計、用地測量費	2,527	期成同盟会負担金	333	駅整備推進基金積立金	101,799	事業全般推進費	2,594	その他の経費
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績						
	リニア関連市道改良整備計画の策定	地区	2	2									
	中央アルプストンネル工事説明会の開催	回	0	2									
	代替地整備計画に向けた測量調査	式	0	1									
	リニア進捗状況の住民説明会の開催	回	16	22									
	リニア推進ロードマップの作成	式	0	1									
29年度決算(千円)	予算額	193,814	特定財源内訳及び補足事項										
	決算額	116,476	(そ) ふるさと寄附金 100,000千円										
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 財産収入 1,799千円									
		県支出金	0	29→30繰越明許費 19,062千円									
		地方債	0										
		その他	101,799										
一般財源	14,677												

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	1	92,015	14,677	リニア推進事業費
2	1	2	1	17	10	3	101,799	101,799	リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア関連事業により移転をお願いする権利者の移転先として、代替地整備計画を早期に決定する必要があります。</li> <li>・トンネル発生土を受け入れる発生土置き場の計画を具体化、決定する必要があります。</li> <li>・高架橋区間の騒音対策として防音防災フードの設置を要望していますが決定に至っていません。</li> </ul>							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替地候補地の地権者を始めとする関係者、関係地区及び関係機関との協議、協力を得ながら業務を進めます。</li> <li>・発生土受け入れ先の地権者、下流域を含めた地区全体への丁寧な説明をJR東海に求めて参ります。</li> <li>・リニア開通後の住環境維持の観点から、防音防災フードの必要性を引き続き強くJR東海に求めて参ります。</li> </ul>							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替地整備計画を具体化し、決定して参ります。</li> <li>・明かり区間、トンネル区間ともに課題を解決し、工事計画が進展するよう調整して参ります。</li> <li>・防音防災フードの設置に向け、引き続き長野県と連携しJR東海と協議を進めて参ります。</li> </ul>							